

地熱・温泉熱開発検討には、まずこれから！ 地熱ポテンシャルマップ北海道版の改訂

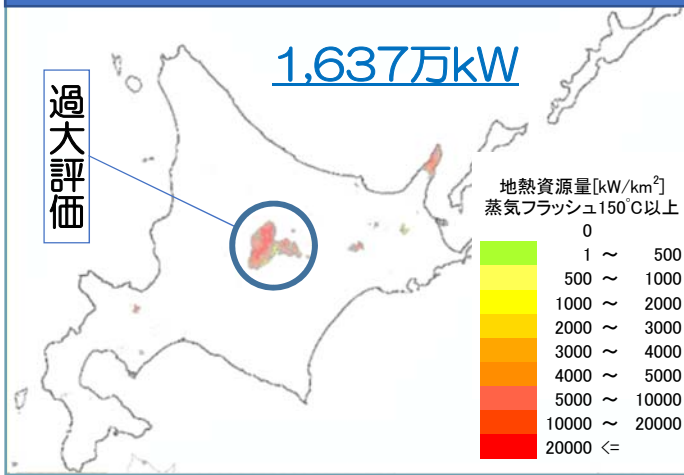
地熱・温泉熱開発可能性調査

背景

- 東日本大震災以降、国のエネルギー政策見直しでベースロード電源としての地熱に高い目標設定
 → 2030年までに現状の3倍！！(155万kW*) しかし、道内には森地熱発電所(2.5万kW)のみ
 → 高ポテンシャルな北海道の貢献・寄与が不可欠 *資源エネルギー庁(2015.07)長期エネルギー需給見通し
- 従来の地熱ポテンシャルマップに使用されていた北海道におけるデータは古く、精査が必要
 → 地熱・温泉データベースの再構築と地熱ポテンシャルマップ北海道版の改訂が急務

成果

従来の地熱ポテンシャルマップ



独立行政法人産業技術総合研究所(2009)を基に作図

データベースの改善により、より確度の高い地熱ポテンシャルマップを作成。

地熱・温泉データベースを再構築し、さらに地質構造に関する最新の知見を反映することによってより信頼性が高いマップを作成しました。

※道庁経済部ウェブサイトにて公開中、随時更新予定

期待される効果

- 確度の高い地熱ポテンシャルマップの提供による地熱開発リスクの低減と地熱開発促進に寄与
- 国・地方自治体のエネルギー施策検討や地方自治体・地熱開発事業者等への技術指導・支援等に活用

データベースの抜本的な再構築

精度の高い源泉位置情報
収録源泉数：2856箇所
(追加源泉数：782箇所)

データベースに基づき、地熱ポテンシャルマップ北海道版の改訂

産総研(2009)の
評価手法を
踏襲

再計算

本研究の地熱ポテンシャルマップ

